

ビジネス・ネットワーキング・レセプション
(2026 年 8 月 24 日／在マラウイ日本国大使公邸)

8 月 24 日、内藤康司駐マラウイ日本国大使は、「マラウイ食品加工サプライチェーン・ビジネス・スタディ・ツアー2026」に先立ち、ビジネス・ネットワーキングを開催しました。今回のスタディ・ツアーには、日本企業 6 社に加え、的場慎太郎日本貿易振興機構（JETRO）アフリカ総代表・JETRO ヨハネスブルク事務所長が参加しました。本スタディ・ツアーは、JICA マラウイ事務所の主催により実施されています。



レセプションには、主賓として、サイモン・イタイェ産業化・ビジネス・貿易・観光大臣、ジョージ・チャボンダ外務・国際協力大臣、ロザ・ムビリズィ農業・灌漑・水資源開発大臣が出席したほか、政府関係者、開発機関関係者、日本企業およびマラウイ企業の関係者など、幅広い分野から多くの方々が参加しました。

挨拶の中で内藤大使より、マラウイ共和国のアーサー・ピーター・ムタリカ大統領に信任状を捧呈した際、同大統領より、日本政府による長年の開発協力に深甚なる謝意を述べつつ、ビジネス、投資、貿易関係の強化に本格的に取り組む時期に来ているとの考えが示されたことを紹介しました。内藤大使は、このビジョンに賛同するとともに、JICA 海外協力隊員の派遣数が世界一多く、日本への留学生が多いマラウイでは「架け橋人材」が各界のいたるところで活躍しており、右はマラウイに進出する日本企業にとり注目すべき要素であると説明しました。

主賓のサイモン・イタイェ産業化・ビジネス・貿易・観光大臣は、日本とマラウイの二国間

関係について、従来の開発協力を基盤としつつ、相互の尊重、共有する価値観、共通の経済目標に基づく強固な戦略的パートナーシップへと発展していると述べました。また、これまで日本が様々な重要分野においてマラウイの発展に長年貢献してきたことに対し、謝意を表しました。

また、日本のマラウイへの貢献に対する特別な感謝の意を表す場面として、ロザ・ムビリズィ農業・灌漑・水資源開発大臣が、出席者とともに、森山良子氏が歌ったことで知られる「今日の日はさようなら」を歌いました。この歌は、同大臣が中学校の頃、JICA 海外協力隊員から数学を教わった経験への感謝を表すものとして、特に大きな意味を持つものでした。

最後に、ジョージ・チャボンダ外務・国際協力大臣の音頭により、出席した 58 名全員で乾杯を行った後、ネットワーキング・セッションが行われました。参加者は、交流を深めながら意見や情報を交換し、今後のビジネス・パートナーシップや協力の可能性について意見を交わす貴重な機会となりました。

大使スピーチ全文：https://www.mw.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00145.html



内藤大使による挨拶



イタイエ大臣によるスピーチ



的場理事による JETRO 事業説明



日本企業プレゼン